

# スキーO 修行レポート その18

スキーO 世界選手権 2009 へ続く

堀江守弘

夏の間はスキーを自転車に履き替えて、世界選手権に出發だ。



## MTB-O 世界選手権へ

8月4日、私はスキーではなく自転車を持って成田空港へと向った。今年3月のロシア遠征で、少々海外恐怖症気味ではあったが、今回の遠征先はチェコということでロシアのようなトラブルは少ないことを願っていた。

ただ、心配だったのは自転車という大荷物だ。テロや原油高の影響が、ここ最近では手荷物に関する制約が厳しい。航空会社には事前に自転車持ち込みの連絡を入れたが、規則では超過料金が発生することだった。

当日、チェックインカウンターで一時間以上に渡り粘りの交渉を続けたが、結局一人13,100円の超過料金を請求された。重量は規定内なのに、自転車というだけで超過料金を支払わなければならないのだから納得がいかない。ちなみに今回利用したのはKLMオランダ航空だ。

チェックインに時間がかかり過ぎたせいで搭乗時間に間に合わず、館内アナウンスで呼び出しされるなど、幸先悪いスタートとなってしまった。しかし、悪い運は使い果たしたようで、その後の遠征は大きなトラブルなく進んだ。

## XC スキーワールドカップ会場！

滞在したのはSKI HOTELという名のホテル。そしてその隣には客席付きのスタジアムがあった。そこはクロスカントリースキーの世界カップの会場となる場所だった。

スプリントとリレーはホテル周辺のトレインで行われた。ワールドカップのレースが行われるだけあって、アップダウンの激しい、複雑なネットワークが形成されていた。

ミドルは、来年開かれるフットO世界選手権のトレーニングトレインということだった。比較的平らだが、細い道が複雑に発達していた。

ロングはスキーOやフットOではなかなか体験できない、1:20,000という縮尺。距離感をつかむことが出来るか不安だったが、それほど抵抗なく地図を読むことができた。ただ、自転車に乗ったままの状態、細かい部分を読むには慣れと工夫が必要だ。

## 手応え充分

結果は、スプリント49位、ミドル55位、ロング予選22位(不通過)、ロングBファイナル8位

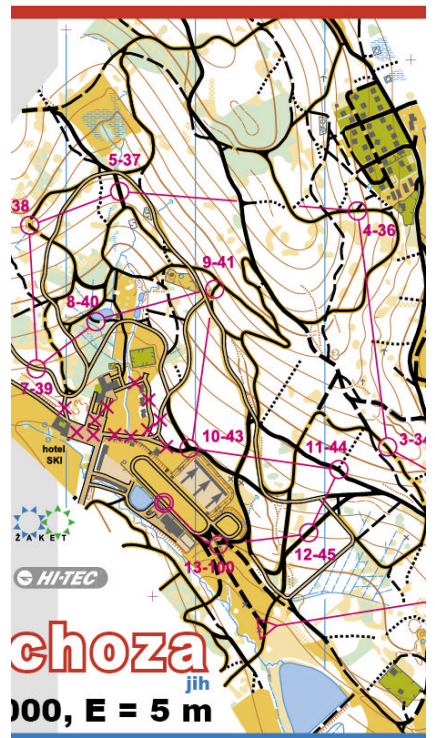
リレー18位。順位だけを見るとスキーOよりもだいぶ落ちてしまった。しかし、ミドル、ロングは一カ国につき6名出場可能なこと、そもそも参加国数が多いことを考えるとそれほど悪い結果ではない。トップ比を見るとスプリントで120%、ミドルで125%、リレー(チーム)で125%と初挑戦にしては上出来だと思う。スキーOに初めて挑戦したときは200%など当たり前だったのだから。

また、過去のMTB-O世界選手権の結果を見ると、日本チームの成績が向上していることは一目瞭然だ。

今回の遠征の目的は世界と自分との差を明確にすることだった。世界との差はおおよそ120%。一番の課題はナビゲーションで、単純なミスをしたくないことだ。今回の私は、非常に単純なミスを繰り返していた。ナビゲーションはスキーOにも共通する部分が多いので、冬に向けてトレーニングしていきたい。最近、日本で流行している脳を鍛えるトレーニングなどは有効かもしれない。

MTBのスピードはそれほど大きく劣るわけではないと思う。トップラップを取ることは出来なかったが、ナビゲーションがスムーズに進んだレグで

はトップから10秒以内のラップも複数あった。今のスピードであれば、中堅国との戦いには十分通用するだろう。もちろん上位を狙うにはMTBのスピードアップも必要だ。



MTB-O 世界選手権 2007  
スプリント競技の地図

## より活動の場を広げて

BLUETAGのサポートを受け、活動の場を広げていくことになった。オリエンテーリングの知名度アップ、普及、日本チームのレベルアップの力になればと思う。これからも皆さんの暖かい応援よろしくお願ひします。

BLUETAG アスリートページ

<http://bluetag.jp/contents/archives/athlete/0023.html>

(堀江守弘)